

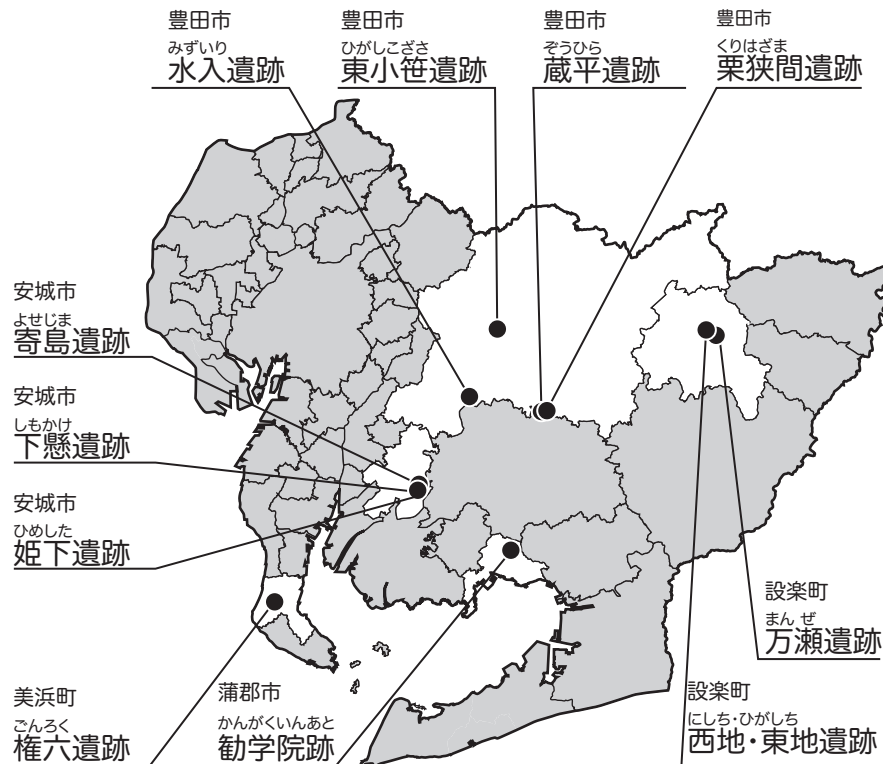
愛知県埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の調査研究を通して郷土の歴史や先人たちの足跡を掘り起こすとともに、それを県民の皆様、さらに次代へと伝える役割を担っています。郷土への深い愛情は先人の遺産の継承があつてこそ育まれます。その一助を果たせるよう私たちはつとめています。

さて、本年度の発掘調査は三河地域が中心になります。それぞれの遺跡が所在する地域の皆様には、発掘調査の最新情報を発掘ニュースや現地説明会でお伝えする予定です。それ以外の地域の皆様も当センターのホームページから発信する最新の情報に触れて頂き、可能なら現地説明会へもご参加ください。お待ちしております。

当センターは弥富市で、春・夏・秋にイベントを開催します。春は二〇一三年度の出土資料を『埋蔵文化財新出土品展『やとみ新発見展』』として展示します。出土品をご覧になり、当センターの職員にたくさん質問してください。



平成26年度の調査予定遺跡



はじめに

埋文桜ニュース

発行日：二〇一四年四月五日
発行者：公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

この夏は
夏休み
子供講座
開設予定

考古ラボ

で自由研究!!

秋の 歴史講座 4回講座開催！

食と器

参加無料

縄文/弥生・古代・中世・近世の各時代の「食と器」についての4人の講師が解説。

2014考古学の祭典

考古学セミナー

名古屋博物館にて開催！
2014年11月29日(土) 30日(日)

〒498-0017
愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24
電話：0567-67-4163
ファックス：0567-67-3054
ホームページ： <http://www.maibun.com/>
メールアドレス： doki@maibun.com

二〇一三年 「愛知の考古学」トピック

昨年、考古学の世界では、「木材の年輪に含まれるセルロースの酸素同位体比」を利用した年代測定法が開発され、1年単位の高精度で年代測定ができるようになったこと、「3Dプリンターを使って『卑弥呼の鏡』との説がある三角縁神獣鏡」の精巧な金属製レプリカを製作したところ、壁に投影した反射光に鏡の背面の文様が浮かび上がる『魔鏡』と呼ばれる現象が起きることが分かった」ことが大きな話題となりました。どちらも考古学にとってはまさに『魔法』や『夢』のような話ですが、これらの研究成果には愛知県埋蔵文化財センターの調査で出土した木材や、犬山市の東之宮古墳といった愛知県の遺跡や遺物が大きく関わっています。皆さんご存知でしたか？

このような華々しい研究成果も地道な遺跡の発掘調査、出土遺物の適切な処理と保管があつてこそ。これらは**愛知県埋蔵文化財センター**をはじめとする考古学関係機関の最も重要な使命です。また、当センターでも最新の科学やデジタル技術との連携を積極的に進めています。

県内を中心とした発掘調査や研究の情報は、一昨年もり開催している『考古学セミナー』『あいちの考古学』で誰でも知ることが出来ます。このイベントでは、一昨年に「酸素同位体比を利用した年代測定方法」、昨年に弥富市の総合社会教育センターで「東之宮古墳を含めた古墳時代の最新の調査状況」も紹介しました。今年は名古屋博物館での開催です。今年も『魔法』のような話や『夢』がふくらむ話がきつとあるはず。乞うご期待！

平成26年度 イベント案内

4	5 (土) 20 (日)	埋蔵文化財新出土品展『やとみ新発見展』（しんはっけんでん）！』 -- 愛知県内で一番早く、昨年度の成果を公開・展示！ -- *4月5日(土)・6日(日)は考古楽(こうこがく)緑日を開催！
5		
6		
7	23 (水)	夏の特別公開『考古ラボ』 夏休みの期間中、バックヤードツアー（隔週水曜開催）や子供講座を開催。
8	6 (水) 9 (土) 16 (土) 20 (水) 29 (金)	* 毎身体験コーナー 予約不要・参加無料 公開期間中いつでもお楽しみください。 * バックヤードツアー 予約不要・参加無料 午前10時に2階受付前に集合 開催日：7月23日(水)・8月6日(水)・8月20日(水) * 子供講座「考古ラボ」 要予約・参加無料 開催日：8月9日(土)・8月16日(土) 午前10時から午前11時30分
9		
10	18 (土) 11 (土) 25 (土) 8 (土) 22 (土)	家族の絆作り事業『家族で歴史を体験発掘！』要予約 遺跡の発掘体験を通じて、家族の絆を深めましょう！ 詳しくはHPをご覧ください 歴史講座『食と器』 予約不要・参加費無料 ・縄文/弥生・古代・中世・近世の各時代の「食と器」についての4人の講師が解説。 ・会場：埋蔵文化財調査センター2階研修室 時間：午前10時～12時 ○10月11日(土)：縄文・弥生 永井宏幸 ○10月25日(土)：古代 永井邦仁 ○11月 8日(土)：中世・戦国 武部真木 ○11月22日(土)：近世 松田 訓
11	29 (土) 30 (日)	2014 年度考古学セミナー『あいちの考古学 2014』 予約不要・聴講無料 愛知県内と近隣の情報を手に入れることができるビックイベント！ 会場：名古屋博物館 *公共交通機関でお越し下さい。
12		
1		
2		
3		



尾張国府の謎に迫る！

稲沢市

北丹波・東流遺跡



▲鎌倉時代の溝



▲鎌倉時代の溝出土遺物

昨年度に引き続き、JR稲沢駅の東側を県道の改良工事にもなつて、発掘調査しています。今までに、古墳時代は畑の畝と水路、奈良時代は「美濃」施印や人名が刻まれた陶器など、鎌倉時代は井戸底に河原石や茶碗を埋めた「井戸封じ」の儀式など多くの発見があります。

今年度の調査は、奈良時代の竪穴建物跡、鎌倉時代の掘立柱建物跡などが見つかっています。なかでも鎌倉時代の幅3メートル、深さ1メートルを超える溝の発見や希少価値のある宋白磁四耳壺の出土は、鎌倉時代の尾張国衙所在地論争に一石を投じることでしょう。



▲古墳時代の溝

山間部の生業、暮らしのあとを伝える発見！

豊田市

孫石遺跡 栗狭間遺跡



▲孫石遺跡 鍛冶炉跡の調査

以降の炭焼窯は各遺跡で検出されています。いずれも山の暮らしを復元する上で貴重な資料となりました。

このほか獣を捕獲するための陥し穴と思われる土坑、近代の土坑、近代以降の炭焼窯は各遺跡で検出されています。いずれも山の暮らしを復元する上で貴重な資料となりました。



▲栗狭間遺跡 加工木片出土状況

平成25年度の調査概要



入り乱れる旧河道跡

寄島遺跡は安城市の東部、矢作川の沖積地に所在する遺跡です。二〇〇七年より調査を開始し、これまでに約一万平方メートルを調査してきました。遺跡の中心となる時期は古墳時代前期で、百棟以上の建物跡と溝、方形周溝墓、古墳や同時期の河道が検出されました。

今回は遺跡の北端部の調査を行い、古墳時代前期の溝群と旧河道、そして井戸が確認され、河道の包含層中から木製品と土器が出土しました。古墳時代以降の河道も検出され、集落の北限と推測されます。また、これまで検出されなかった大規模な中世の溝も確認されました。



▲寄島遺跡全景

安城市

寄島遺跡



▲古墳時代の井戸

郷土の歴史の目覚め!?

岡崎市

八畝畑遺跡

八畝畑遺跡は、岡崎市南西部に所在します。調査地点の南側約一・五キロメートルの位置には、古墳時代後期から終末期の円墳からなる羽角山古墳群が丘陵上に展開します。今回の調査では、第一面において古墳時代後期から中世にかけての集落跡が確認され、第二面においては弥生時代後期から古墳時代前期の集落跡や自然流路等が確認されました。

羽角山古墳群を含めて周辺遺跡との関連を検討する必要があります。



▲B区遠景（北より）

土器焼きの現場は近い！

安城市

下懸遺跡



▲土器焼き関連の遺構

下懸遺跡は、安城市の東部を流れる鹿乗川沿いに並ぶ「鹿乗川流域遺跡群」の中の遺跡です。これまでの発掘調査で、弥生時代の河川や土器棺、弥生時代から古墳時代前期の集落が見つかっています。また集落の西側から南側には河川が流れており、弥生時代から古墳時代の木製のよういや農具・建築材、奈良時代から平安時代の木簡が出土しています。今年度は遺跡の北西部の発掘調査が行われ、河川や竪穴建物などが見つかりました。特に調査区の南西部で見つかった古墳時代前期の土坑では焼土や炭化物や細かく割れた土器片が多量に出土しており、土器焼きに関わる遺構ではないかと考えられます。



▲竪穴建物跡



▲調査区近景



▲鹿乗川（北より）

別所街道との関連はいかに

豊橋市

野添遺跡

野添遺跡は、豊橋市北部に所在します。今回の調査では、古代の土坑、竪穴建物、中世の溝等が確認されました。このうち竪穴建物跡は八棟以上検出されています。調査地点の北側から中央東側にかけては、直線的な溝が検出されました。溝の底から、鎌倉時代の焼き物が出土しています。調査地点のすぐ西側には、この溝と同じ方向で旧別所街道が通っています。

道と竪穴建物、溝がどのように関わっていたのかも含めて、この遺跡の性格が注目されます。



▲調査区 遠景（南より）

